

# 「東京港埋立護岸改修・グリーン化計画（案）」に対する意見募集の結果について

## 1 受付期間

令和7年2月21日から同年3月22日まで

## 2 意見の提出状況

- (1) 提出された方の総数 28者
- (2) 提出意見の総数 49件

## 3 意見の概要と都の考え方・対応

※ いただいた御意見につきましては、内容を要約して掲載しています。

| No. | 意見の概要           |  | 都の考え方・対応   | 本文<br>頁  |
|-----|-----------------|--|--|----------|
|     | 項目              | 概要   |  |          |
| 1   | 改修・グリーン化<br>の実現 | 東京港の埋立地の機能を維持し続けるためには、改修・耐震化に早急に取り組むべきである。また、グリーン護岸を計画的に整備し、利用者が安全に水や緑に親しむことのできる魅力的な場所をつくってほしい。<br>是非、埋立護岸の改修・グリーン化を進めてほしい。<br>(同様の趣旨の意見が他15件) | 本計画では、「2034（令和16）年度までに約4kmを整備する。」としています。<br>また、利用者の安全の確保も重要であることから、下記のとおり追記します。<br>「また、護岸の改修・グリーン化にあたっては、利用者の安全の確保や、船舶の航行への影響等に配慮した整備を行う。」 | 18<br>20 |

| No. | 意見の概要           |   | 都の考え方・対応   | 本文<br>頁 |
|-----|-----------------|---|--|---------|
|     | 項目              | 概要  |  |         |
| 2   | 改修・グリーン化<br>の実現 | <p>計画策定にあたり有識者に意見を聞いたと記載があるが、計画を実行する際にも有識者の意見を取り入れて進めてほしい。また、海外の事例や最新の知見をしっかりと調べた上で事業を進めてほしい。</p> <p>(同様の趣旨の意見が他 2 件)</p>             | <p>本計画では、「耐震構造や海洋環境等の専門的知見を有する有識者を含めた委員会を設置し、整備内容や整備手順等を検討する。」とし、計画の実施に向けて取り組んでいきます。</p>   | 19      |
| 3   |                 | <p>計画策定後も、事業を実施するための整備費の確保や事業効果の見える化、PDCA を用いた検証、計画の見直しなど、事業の効率的かつ効果的な推進に取り組むとともに、定期的な点検により施設を適切に管理してほしい。</p> <p>(同様の趣旨の意見が他 3 件)</p> | <p>本計画では、「効率的かつ効果的に推進するため、PDCA サイクルを用いて検証していく。また、5 年毎に実施している健全度調査や緊急的な補修工事等との整合を図りつつ、適切なタイミングで本計画を見直していく。」、また「本計画による改修後の護岸に対しても、維持管理計画を策定し、定期的な点検診断や部材毎の適切な補修を行い、予防保全型の維持管理に転換していく。」としています。</p> <p>いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> | 18      |
| 4   |                 | <p>護岸の改修・グリーン化にあたっては、二酸化炭素を吸収するセメントやグリーンスチールなど、環境に配慮した材料を積極的に使ってほしい。</p>  | <p>資材等の選定にあたっては、「東京都環境物品等調達方針（公共工事）」等に基づき適切に対応していきます。</p> <p>いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>   | —       |

| No. | 意見の概要           |  | 都の考え方・対応  | 本文<br>頁  |
|-----|-----------------|--|---|----------|
|     | 項目              | 概要   |   |          |
| 5   | 改修・グリーン化<br>の実現 | 埋立護岸の改修・グリーン化にあたっては、景観に配慮して整備してほしい。  | 本計画では、「護岸改修・グリーン化に併せて、景観の向上も検討する。」としています。<br><br>いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。  | 20       |
| 6   | 改修・耐震化          | 埋立護岸の改修にあたっては、周辺の海岸保全施設等との連続性に配慮してほしい。                                       | 埋立護岸の改修にあたっては、周辺施設との連続性に配慮し、整備をしていきます。  | —        |
| 7   |                 | 東京港の埋立地には、護岸の直背後に物流施設や公園などがある箇所が点在しているため、こうした箇所の護岸は地震に強い構造（レベル2地震動対応）にしてほしい。 | 本計画では、「周辺の土地利用（建物近接や海上公園など都民利用がなされている区間）等を考慮し、更なる強靱化が必要な箇所のみについて、レベル2地震動対応施設とする。」、また「耐震構造や海洋環境等の専門的知見を有する有識者を含めた委員会を設置し、整備内容や整備手順等を検討する。」としています。<br><br>いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 | 13<br>19 |

| No. | 意見の概要  |   | 都の考え方・対応  | 本文<br>頁  |
|-----|--------|---|---|----------|
|     | 項目     | 概要  |   |          |
| 8   | 改修・耐震化 | <p>東京港内に護岸の老朽化が著しい箇所があるため、迅速に改修を実施してほしい。また、水辺まで行けたり、水辺のカフェで休憩できたり、自然豊かな素敵な護岸にしてほしい。</p> <p>(同様の趣旨の意見が他3件)</p> | <p>本計画では、護岸の腐食が著しい箇所等について、「2034（令和16）年度までに約4kmを整備する。」、また「海上公園等が背後にあり多くの都民が来訪するエリアは、緩傾斜護岸等により水辺へのアクセスが可能となるよう配慮し、親水性の向上を図る。」としています。</p> <p>いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> | 18<br>16 |
| 9   | グリーン化  | <p>グリーン護岸の具体的な整備箇所、整備内容、整備スケジュール、整備費用はどのようなになっているのか。</p>  | <p>本計画では、「地区特性に応じたグリーンインフラやブルーインフラの整備等、様々な観点から総合的な検討を行うことで、良好な水辺空間を形成していく必要がある。このため、耐震構造や海洋環境等の専門的知見を有する有識者を含めた委員会を設置し、整備内容や整備手順等を検討する。」としています。</p>                         | 19       |
| 10  |        | <p>「グリーン護岸」という言葉は馴染みがないので、どのようなものか説明を加えてほしい。</p>  | <p>グリーン護岸についての記述を下記のとおり追記します。</p> <p>「グリーン護岸…図1-3及び図3-13の整備イメージのとおり、グリーンインフラ、ブルーインフラや磯浜等を整備した護岸」</p>  | 2        |

| No. | 意見の概要 |  | 都の考え方・対応  | 本文<br>頁  |
|-----|-------|--|---|----------|
|     | 項目    | 概要   |   |          |
| 11  | グリーン化 | <p>都民が水辺に容易にアクセスでき、安全が確保されたエリアを多数設けてほしい。また、二酸化炭素の抑制に寄与する水辺の植物の生息確保や生物多様性に配慮してほしい。</p> <p>(同様の趣旨の意見が他 2 件)</p>  | <p>本計画では、「生物の生息・生育環境の確保」として、藻場の形成や生物共生化を図っていく。」、また「潤いある生活環境の形成」や「風景・景観の形成」として、緩傾斜護岸やスロープ等の設置を推進していく。」としています。</p> <p>いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> | 14<br>15 |
| 12  |       | <p>護岸改修にあたっては、施工や維持管理のしやすさ、LCC（ライフサイクルコスト）の低減等を考慮してほしい。また、水際は、捨石などにより自然な形で整備してほしい。</p> <p>(同様の趣旨の意見が他 4 件)</p> | <p>本計画では、「設計・施工に際しては、維持管理における LCC（ライフサイクルコスト）の低減を考慮して実施する。」としています。</p> <p>いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>   | 12       |
| 13  | その他   | <p>施設の現状から事業計画まで、写真や図等をのせて説明がされており、とても理解しやすい計画書であった。</p> <p>(同様の趣旨の意見が他 1 件)</p>                               | —   | —        |
| 14  |       | <p>今回のように計画が都民に公表されると、安心して東京に住むことができる。</p>   | —   | —        |

| No. | 意見の概要 |  | 都の考え方・対応   | 本文<br>頁 |
|-----|-------|--|--|---------|
|     | 項目    | 概要   |  |         |
| 15  | その他   | 昨今、埼玉県八潮市での道路陥没事故など日本全国で老朽化したインフラの増大が社会問題となる中、本計画が策定されたのは時宜を得たもので評価できる。  | —  | —       |
| 16  |       | ブルーインフラや干潟を活用し、住民が生き物や自然と触れ合える機会、学習の場となるような取り組みが検討されることを期待する。  | 本計画では、「ホームページやSNS、現場見学会などを活用し、都民や利用者などに対して、埋立護岸の改修・グリーン化に関する事業を幅広く広報していく。」としています。<br><br>いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 | 21      |
| 17  |       | 水の広場公園について、子どもが水と触れ合うことのできる季節ごとのイベント開催や、周辺施設との連携強化等により、観光資源としての魅力を高めてほしい。また、周辺の歩道及び自転車道の整備や、公共交通機関との連携強化等、水の広場公園の利便性の向上についても検討してほしい。 | いただいたご意見は、事業を所管する部署と共有させていただきます。   | —       |
| 18  |       | 東京港には民有護岸もあると思うので、それらの護岸の改修に支援制度があれば港の機能強化、快適な空間の創造につながると思う。<br><br>(同様の趣旨の意見が他1件)   | いただいたご意見は、関係機関と共有させていただきます。  | —       |